



教職員委員会 NEWS

No.17

➤ あの初代学生委員長が！！

県短生協設立のために発起人として活躍し、設立後は、生協学生委員会の初代委員長を務めた富樫和枝さんが、囑託職員として県短生協に赴任されることになりました。

県短生協は、設立以来、新潟大学生協に所属する店長さん+アルバイト職員さん、というスタッフで運営されてきました。しかし、6年前から今日までの間に、青陵短大生協の設立、青陵大学の開学による事業の拡大、県短生協食堂の開業、と、さまざまなことが起こりました。生協の重要性が広く認識された結果であり、喜ばしい限りなのですが、店長さんのお仕事は膨らむ一方となり、支障が生じるようになっていました。正規職員さんに来ていただくのは、まだ難しいということで、囑託という形ですが、私たちの生協も、ついに職員さんに常駐していただけるようになったということ、そしてそれが、本学の卒業生であり、かつて設立に尽力した学生のひとりだということは、一つの快挙だと思います。

富樫さんは、卒業後、新潟大学生協・茨城大学生協に勤務してこられました。このたび、ご家族の転勤に伴い、新潟へ戻られることになったそうで、年内にも着任していただけるようです。忘年会を兼ねて歓迎の催しを企画したいと思います。改めてご案内いたしますので、ふるってご参加ください。

➤ 「どこでもドアのかぎ 7」

今年も「どこでもドアのかぎ」を作ります。生協設立以来、回を重ねて来まして、これで第七集となります。学生もさることながら、先生方の間にも、ひそかに楽しみにしておられる方が多いとか。ご専門の本でも、この際(?)趣味に走っていただいても結構です。どしどしお寄せください。

回を重ねていると言いながら、実のところは、いつも作業が遅れて、反省ばかり繰り返していました。せっかくご推薦いただいた本も、二年生が卒業する前に店舗に並べることが難しく、コーナーらしくするのは新年度、という状態でしたが、今年こそ反省を生かそう、ということで、以下のようなスケジュールを立ててみました。

書籍のご推薦	11/29 まで
推薦文・コメント	12/20 まで
店舗に陳列	1/7 ~

これまでに寄せいただいたご推薦は、いったん取りまとめまして、

生協店舗の方で注文をはじめていますが、「あっ忘れていた！」という方も、まだ間に合います！ 今しばらく、引き続き募集させていただきますので、以下のいずれかの形でお寄せください。

配布済みの用紙、または適当な紙(^^;)に記入し、水上のメールボックスへ入れる

mizukami@cc.nicol.ac.jp宛に電子メールで送る

書籍のジャンルや価格、冊数は問いません。多数のご推薦をお待ちしています。

➤ 「信州の旅」シリーズ

「きき耳ずきん」は、今号から、英文学科 小谷一明先生による「信州の旅」シリーズです。「その一」はおいしい旅のお誘いです。

きき耳ずきんのコーナー

信州の旅(その一)

小谷 一明

私はしばしば信州の松本に出かけます。目的は景色と温泉とそばです。では秋冬の理想的なルートをご紹介します。まず金曜の夜6時に県短を出発しますと、8時45分に松本周辺に到着します。そこで北アルプスの夜景(といっても真っ黒)を一望できる長峰荘に向かいます。ここでは糖尿病に効く露天風呂を堪能。夜9時までの営業ですので、廊下を歩きながら服を脱ぐ準備にとりかかるといいでしょう。その後、浅間温泉にある「アルプス」でカツ丼セット(もり一枚とカツ丼)。ここは、手回しの石臼で蕎麦を挽く「水そば」が有名ですが、通は普通の「もり」を選びます。そして近くの「胡盧」でポークカレー(おばあちゃん手作り)とアイスコーヒー。これで店外に出ると、美ヶ原から吹き込む風が爽やかに感じられます。翌日の土曜日は、朝9時に土蔵作りの「まるも」で喫茶、9時半に浅間の「枇杷の湯」で檜風呂。10時半に「みやま」で大もりとラーメン。ここでは蕎麦とラーメンを一緒に食べるのが地元のルールになっています。足りないので松本駅から8分の「浅田」で二八そば。そして安曇野にある農場でソフトクリーム、穂高の石窯パン屋で運転中に食べるパン。松代の農家で傷ものリングを大量に買い、大町温泉「薬師の湯」で一服。隣接のヘンリー・ミラー美術館で絵はがきを買い、小谷村「道の駅」で黒ゴマプリン。あとは糸魚川経由で帰宅。たった一日ですっかり疲れがとれますよ。